



2018年10月19日

各 位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 経営企画部長 成家 秀樹
 (TEL 03-6369-8664)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表しました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想(第2四半期累計・通期)及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,100	2,300	2,000	1,400	54.12
今回発表予想(B)	72,250	440	350	360	13.91
増減額(B-A)	△1,850	△1,860	△1,650	△1,040	
増減率(%)	△2.5%	△80.9%	△82.5%	△74.3%	
(ご参考)前第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	70,631	1,732	1,578	1,255	48.56

(2) 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	152,000	5,800	5,300	3,600	139.17
今回発表予想(B)	149,300	3,100	3,150	2,300	88.80
増減額(B-A)	△2,700	△2,700	△2,150	△1,300	
増減率(%)	△1.8%	△46.6%	△40.6%	△36.1%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	145,167	4,718	4,436	3,450	133.40

(3) 修正の理由

連結売上高については、主に北米、中国での自動車販売・生産減速の影響を受けて、ダイカスト事業の販売量が弱含みで推移しており、当初予想を下回る見込みです。

利益面については、アジアでは生産性が改善し予想を上回る利益が見込まれますが、一方で日本及びメキシコでは販売量の下振れと燃料価格の上昇等によるコストアップ要因が加わり当初予想を下回ることが見込まれます。また、米国工場では、改善プロジェクトを年初より継続しており生産性の改善の兆しはありますが、収益面の改善が遅れており、連結全体での利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、為替レートにつきましては、107円/米ドル、16.0円/元、1.6円/インドルピーを前提としております。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	12円00銭	14円00銭	26円00銭
今回修正予想	10円00銭	12円00銭	22円00銭
当期実績			
前期実績(2018年3月期)	12円00銭	14円00銭	26円00銭

(2) 修正の理由

当社は、中長期的な事業発展のための財務体質と経営基盤の強化を図ることを考慮しつつ、適正な利益還元を行うことを基本方針とし、中長期の企業成長に必要な投資額及び配当性向を勘案したうえで、連結業績の動向も十分考慮した配当を行っていくこととしております。

業績が前回予想を大幅に下回る見通しとなったことを踏まえ、当社の方針から総合的に判断し、誠に遺憾ではございますが、第2四半期末配当(中間配当)及び期末配当予想を修正させていただきます。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	69,800	70,400	600	2,150	480	△1,670
ダイカスト事業 北米	41,000	40,000	△1,000	1,470	310	△1,160
ダイカスト事業 アジア	33,000	31,600	△1,400	1,900	2,050	150
アルミニウム事業	5,000	4,600	△400	110	140	30
完成品事業	3,200	2,700	△500	170	120	△50

為替レート的前提(第2四半期以降:107円/米ドル、16.0円/元、1.6円/インドルピー)

(前回予想:110円/米ドル、16.0円/元、1.75円/インドルピー)

以上